

今週のメニュー

■トピックス

◇プラスチック教育連絡会の立ち上げ

－中学校理科教員向け研修会と全国大会で、プラスチック教育を支援－

プラスチック教育連絡会

■随想

◇日本のお祭りシリーズ（その5）－秩父川瀬祭り－

関東学院大学 織 朱實

■編集後記

■トピックス

◇プラスチック教育連絡会の立ち上げ

－中学校理科教員向け研修会と全国大会で、プラスチック教育を支援－

プラスチック教育連絡会

平成24年度から中学校1年生の理科で「プラスチック授業」が必須になったことから、一般社団法人日本化学工業協会、日本プラスチック工業連盟、一般社団法人プラスチック循環利用協会、塩ビ工業・環境協会のプラスチック関連4団体が連携し合い、品川区立小中一貫校品川学園山口副校長先生を中心とする現場の先生方とのネットワークを活用して、今年6月に「プラスチック教育連絡会」を立ち上げ、教育現場におけるプラスチックについての科学的な見方や見識、プラスチック製品に関する理解を深めて頂く活動を行っています。

8月2日に、品川学園で開催された中学理科の教員を対象とした品川区夏季実技研修会で、17名の先生の参加を得て、実験を交えた研修会を行いました。前半は、塩ビ工業・環境協会が「プラスチックとは」のテーマで、石油をはじめとする原料資源との関わり、プラスチックの種類と化学構造、その特性について説明し、密度の違いによる区別の仕方の実験を行いました。後半は、プラスチック循環利用協会が「プラスチックのリサイクル」のテーマで、容器包装を中心とするリサイクルの事例紹介、各国でのプラスチック収集の状況などを説明し、ペットボトルから糸を作る模範実験が行われ、参加された全員の先生方に手作りの実験設備が贈られました。最後に、全体を通じた質疑応答が行われ、プラスチック授業への理解を深めて頂きました。



[クリックで拡大](#)



理科教員対象の講義と実験の様子（於：品川学園）

8月8日、9日には、第60回全国中学校理科教育研究会の東京大会が「かつしかシンフォニーヒルズ」で開催され、約800名の先生方が全国から集まられることから、プラスチック教育連絡会としてブース展示を行い、先生向けの教材として「[こんにちは、プラスチック](#)」、「[調べてわかるプラスチック](#)」、「[プラスチックとリサイクル、8つの?](#)」、「[プラスチックリサイクル基礎知識 2013](#)」、「[プラスチックとプラスチックのリサイクル](#)」、「[きっと好きになる化学のクイズ37](#)」、「[エピソードと人物でつづるおもしろ化学史](#)」を約180部配布しました。



「プラスチック教育連絡会」  
展示ブース

都内をはじめ、北海道、東北、九州、四国、近畿からも来られて、プラスチック授業での苦労話や教材を使った実験のやり方なども熱心に質問され、出前授業の希望も多く寄せられました。

今後も、日本化学工業協会が理科教員向けに行っている「子ども化学実験教室」の地方への展開で、10月20日にイオンモール盛岡で開催される「教員向けセミナー in 盛岡」にプラスチック循環利用協会と塩ビ工業・環境協会が参加し、プラスチックとリサイクルの実験授業を行う予定です。

これらの活動を通じて、教育現場の声に耳を傾け、次代の日本を担う学生の理科力を高める活動を地道に行って行きたいと考えています。

是非、この取り組みに関心のある先生方が居られたら、私たちの「[プラスチック教育連絡会](#)」にご連絡下さい。更には化学から科学へ広がって行くことを願っています。

## ■ 随想

### ◇日本のお祭りシリーズ（その5） ー秩父川瀬祭りー

関東学院大学 織 朱實

その地方のお祭りに参加してみると、どこにでもあるような普通の街並みに見えていた町の山車の細工が思いがけず豪華だったり、歴史を感じられたり、屋台がとんでもなく勇壮であったり、町の思いがけない一面を見せて驚かされることがしばしばあります。秩父も、わたしにとってはそんな地域の一つです。このお祭りのメルマガの連載をするまでは、あまりなじみのない場所でしたが「東京近郊で、面白そうなお祭りがあるところ」と探し始めると、秩父は有名な「秩父夜祭り」を筆頭に、5月に紹介した[奥秩父の「花祭り」](#)、10月の「龍勢祭り」（ロケット祭り）、そして今回の7月の「川瀬祭り」と実に多様なお祭りがてんこ盛り！桐生と並んで、生糸生産が盛んな地域だったということですが、本当に豊かな地域だったことが、屋台や山車の荘厳さから見取れます。

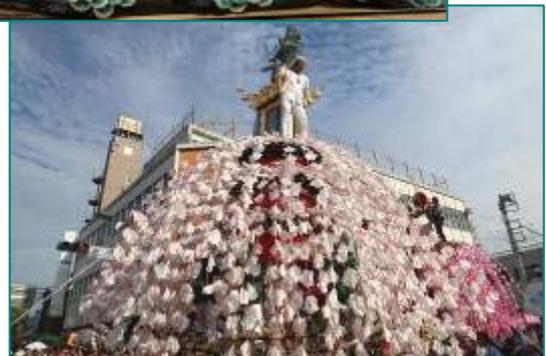


今回の「川瀬祭り」は、前回の「花祭り」に次いで子供が主役のお祭りでした。秩父のお祭りの横綱「夜祭り」と比較されることの多いお祭りですが、夜祭りが「冬」なのに対し、川瀬祭りは「夏」のお祭り。夜祭りが「夜」がメインの祭りであるのに対して、川瀬祭りは「昼」がメイン。そして、夜祭りが「大人」の祭りであるのに対して、川瀬祭りは「子供」が主役のお祭り。各町内の4台の屋台と4台の笠鉾の曳手、囃手子どもどもたち。町内ごとに趣向のこらされた、鮮やかなピンクや赤の祭り装束、花のついた笠が街を練り歩くのは、子ども達のうきうきした様子とともに、なんと華やかなことか。



屋台は、大きいだけでなく細工も細かく、色彩も鮮やかで見事！見とれていたら、見物客のオジサマ曰く「夜祭りの屋台は、こんなものでないよ。これは、まだ100年くらいのもんだろう。夜祭りののは、もっと古くて凝っているから。」「川瀬祭りだけでなく、夜祭りも見に来てよ。驚くから」ということでした。今回の川瀬祭りでも十分壮麗で、立派なもの！と感じ入ったのに、さらに壮麗な夜祭りとは！

「本当にお金がある地域なんですね」と感心したら、「いやいや、無理してんのよ。でも、昔からやってきたことだからね、続けないとね」ということでした。



しかし、暑い夏の日に2日ばかりのお祭り。子どもたちも大変ですが、すべてに目配りしてサポートしている大人たち、世話役さんも大変そう！

とはいえ、あちらこちらで車座になっておしゃべりしている子供たちは、みんな本当に楽しそうでした。実際に屋台を曳いたり、練り歩いているときは「しんどい」という顔の子どももいたりするのですが(笑)、休憩時間に仲間でおしゃべりしているときは暑い日差しもなんのその！という感じで、おしゃべりに夢中になっています(こういうときでもゲームをしている子供がちらほらいるのは、どこのお祭りでも見られる風景ですけどね)。

こういう他愛無いおしゃべりの時間が実は、夏のお祭りの中で一番の思い出になったりするのでしょうか。町の名前をいれたお揃いの法被や、千社札。自分の町内の誇りに思っている感じがよく伝わってきます。



さらに、こういうお祭りの場では、男の子は男前度が、女の子は女子度が30%くらい増しになるような気がします。白い祭り装束で、みこしをかついでいる高校生男子のカッコいいこと！浴衣姿の女子も、うなじが色っぽかったり、町全体が祭りオーラで美男美女度アップ！食堂で、「秩父の女の子、かわいい子多いですよね」と言ったら、おばさんから「え〜？そんなことないと思うけど、今日は、特別オシャレしているからじゃない」というお返事。確かに、祭りマジックでお祭りの夜に、恋が生まれるのもわかる、という感じです。



「川瀬祭り」のクライマックスは、秩父神社を出発した神輿が、荒川の中に入り水のめぐみに感謝し、厄災を洗い流すという「神輿洗い」。これは大人の手によるのですが、重量400kgの神輿が、じゃぶじゃぶ荒川の中に入り、担ぎ手により景気よく水をかけられるという、勇壮で、夏らしい風景です。荒川の上の橋の鈴なりの見物客から、クライマックスに「おお〜！」と歓声が響き渡るのも、雰囲気盛り上げます。ここからまた神社まで戻り、また夜はそれぞれの町内を練り歩くというのですから、大人も子供も大変です。



でも、伝統のあるお祭り、是非是非長く続けてほしいです。9月10月は秋祭りのシーズン、いろいろなお祭りがてんこ盛りなのでまた面白そうなお祭りをレポートしたいと思います。私のブログでは、今8月のロシア出張の様子をアップしていますのでよろしければ見てくださいね。

⇒ [私のブログはこちらです。](#)

⇒ [メルマガ・バックナンバー](#)

## ■ 編集後記

朝の通勤電車は六ドア車両を愛用しています。わずかな隙間を縫って、折りたたまれた椅子の窓際を早々に確保し、車窓の景色や車内の人間模様を眺められ、半蔵門からはゆっくり座れることが魅力です。ある日、荷物を抱えた学生がその定席に寄りかかり、熱心にシャープペンでノートに日記らしきものを書いている姿を見かけました。スマホやノートパソコンに打ち込む若者と比べて、何故かホットしました。猛暑が続きますが、ふとした気づきを楽しみに今夏を乗り切りたいと思っています。(円行)

## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 東 幸次

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)